

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	所沢第二幼稚園運営事業	所管	教育委員会学校教育部 所沢第二幼稚園
			TEL 2924-7654

事業の目的 (何の為に 行うか)	生きる力の基礎を養い、健やかで心豊かな幼児の育成を図り教育効果を高める。。
------------------------	---------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	徒歩25分程度圏内で通園可能な4・5歳児	対象とした数	350	人
		実際に 利用した数	97	人

活動の内容 (何を したか)	<p>&lt;園児の日課&gt;8時50分登園。9時～11時30分、幼児それぞれの遊びや教師の提案した遊び、課題活動等。家庭からのお弁当で昼食。14時降園。その後園庭開放を15時まで。&lt;年間行事&gt;入園式、保護者会、健康診断、交通安全教室、保育参観、保育参加、園外保育、夕涼み会、祖父母の会、遠足、総合避難訓練、危機管理訓練、劇遊び、餅つき、繭玉祭り、料理会、節分、お別れ会、卒園式、修了式、&lt;地域との交流及び人材活用&gt;保・小・中学校との交流、絵本の読み聞かせ、荒幡富士清掃、夕涼み会の盆踊り指導、野菜の耕作や植え付け、大正琴鑑賞や音楽会、人形劇観劇、池へのメダカ放流等。</p>								
	活動実績	項目名	未就園児幼稚園開放	20	項目名	荒幡富士、通園路等の親子大掃除	2	項目名	保護者及び支援者の保育参加
			単位 回			単位 回			単位 回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,769	0	56,364	166.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	保護者・支援者等への聞き取り、アンケート評価による満足度	満足と答えた数/アンケート回収数	100 単位 %	95 単位 %	95.0 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130202	TEL	2924-7654		
事業コード	所沢第二幼稚園運営事業		教育委員会学校教育部 所沢第二幼稚園					
130202		グループ	所沢第二幼稚園					
開始年度		昭和	48	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市立学校設置条例・所沢市立幼稚園管理規則							
	関連・類似事業	小・中学校運営に関する事業(学校教育課)							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	4 幼児教育の振興	小柱	(1) 幼児教育推進体制の確立
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ…  H19 ***   H20 ***					
事業開始の背景	昭和48年4月1日創立、幼児教育の充実を図ると共に、人口の急増に伴い、幼児数の増加に対応した。地域に幼稚園設置を望まれ導入された事業である。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)							
	生きる力の基礎を養い、健やかで心豊かな幼児の育成を図り教育効果を高める。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方			
	対象数				単位			
	平成 18 年度				平成 19 年度			
238 人				105 人				
350 人				97 人				
事業の具体的な内容及び実施方法								
<p>&lt;園児の日課&gt;8時50分登園。9時～11時30分、幼児それぞれの遊びや教師の提案した遊び、課題活動等。家庭からのお弁当で昼食。14時降園。その後園庭開放を15時まで。&lt;年間行事&gt;入園式、保護者会、健康診断、交通安全教室、保育参観、保育参加、園外保育、夕涼み会、祖父母の会、遠足、総合避難訓練、危機管理訓練、劇遊び、餅つき、菫玉祭り、料理会、節分、お別れ会、卒園式、修了式、&lt;地域との交流及び人材活用&gt;保・小・中学校との交流、絵本の読み聞かせ、荒幡富士清掃、夕涼み会の盆踊り指導、野菜の耕作や植え付け、大正琴鑑賞や音楽会、人形劇観劇、池へのメダカ放流等。</p>								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )							
	<input type="checkbox"/> 終了 => ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )							
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
平成19年度中に改善した点								
地域の安全、安心や防犯パトロールの人たちをお料理会の時招待し、園児達と触れ合ってもらったり、日頃の感謝を伝えた。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		5,878	8,769	11,815
	決算(見込み含む)		5,584		
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 ) ( 2.00 人 ) ( 人 ) ( 2.00 人 )			
	正規職員人件費	6.00 人	55,200	6.00 人	56,364
	公債費				
	事業費合計		60,784	56,364	
	財源内訳	一般財源	60,784	8,769	11,815
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	179.9	166.2		
	利用数一単位あたり(単位:円)	578,895.2	581,072.2		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	未就園児幼稚園開放	実施した回数	回	20	20	20	
		荒幡富士、通園路等の親子大掃除	実施した回数	回	2	2	2	
		保護者及び支援者の保育参加	実施した回数	回	24	24	40	
	成果分析	保護者・支援者等への聞き取り、アンケート評価による満足度	満足と答えた数/アンケート回収数	%	目標値	100	100	実績値の拡大を図る1
			%	実績	95	95	実績値の縮小を図る2	
			%	達成率	95.0	95.0	1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	ボランティアの人が高齢化傾向にあるので、園内で園児と触れ合っている時、安全面で事故に留意していかなければならない。				
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	近隣の人口統計から幼児数が減少傾向にあるので、園児数を確保する。	就園児数を55名に増やしたい。	平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	園児数が一定し大きな変化が見込まれない為、幼・小・中学校や地域・保護者と共に連携を強化しつつ、範囲以内での活動を維持する。				
評価日	平成20年5月14日	記入者職氏名	園長 金子栄子		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	施策の体系		施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					